



愛知総合工科高等学校愛知総合工科高等学校

review

選

敷地は、名古屋市内を東西に走るメインストた、県内初の総合工科高等学校である。として、ふたつの工業高校を統合して新設されとした。

づくり学校である愛知県立愛知総合工科高等学校

とすると共に、断面的にも立体的な構成となったすると共に、断面的にも立体的な構成となっており、配置計画は、南北方向に伸びた管理棟から腕を伸ばしたように、東西方向に三棟の建物が配置され、棟間は野外作業スペースとなっており、を伸ばしたように、東北方向に伸びた管理棟から腕が多く集まる学園地域でもある。



生徒を迎えるメインゲート

いて気持ちの良い空間となっている。

正面の道路から、敷地に入ると「コミュニケーションプラザ」と名付けられた広場があり、ここはいカーでは生徒と市民との交流の起点となる。公開日には生徒と市民との交流の起点となる。とりの教育を街に公開するような構成になっている。

建物そのものは大変ローコストでかつ質素に作 はなっており、またこの空間は内部と外部が一 になっており、またこの空間は内部と外部が一 になっており、またこの空間は内部と外部が一 になっており、またこの空間は内部と外部が一 とで体感でき、愛知県の技能者コンクールの会場と で体感でき、愛知県の技能者コンクールの会場と さもあり、これまでにない高校としての試みは、 さもあり、これまでにない高校としての試みは、 は回 を差上のステージを含めてシークエンスの面白 なるのではないかと感じた。

場となっている。これは管理においても有効であを学ぶ生徒達にとっても建物の構造や配管などや設備配管、機械室など建物の構造や配管などや設備配管、機械室など建物の構造や配管などを露出して見える化する建築的な試みが行わをする生徒を学ぶ生徒がある。これは管理においても有効である。これは管理においても有効である。

国 BCS賞

一階の作業スペースまで採光と通風が届

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2019年で60回を数えます。



愛知県教育委員会教育長

長谷川洋 Hiroshi Hasegawa

「ものづくり愛知県」を代表する学校

愛知県の工業教育の中核を担う新しい高等学校として、総合工科高等学校を2016年4 月に開校しました。

本校では、工業学科の枠を超えた総合的な技術・技能を身に付けた生徒の育成を目指 すとともに、高等学校卒業後更に専門知識を身に付けるための専攻科(機械系・電気系)を 併設し、2017年度から専攻科の運営を民間(名城大学)で行う、全国で初めての公設民営 化であり、企業や大学と連携し、専門分野で実務経験のある技術者を講師として招くなどし て、より実践的なものづくり教育を行っています。

「ものづくりの学校」として、建物の構造体、設備配管、設備機器等のあらゆるものが露出 しているので、校舎を生徒の教材として活用しています。

今後も本校が「ものづくりの愛知県 | を代表する学校となるよう努めて参ります。



株式会社久米設計 設計本部 建築設計部 主管

横田順 Sunao Yokota

交流・連携・発見を生む「ものづくりの学校」

計画に着手したときから常に「ものづくりの学校」であることを念頭においてきました。

今ものづくりの現場では専門化、分業化が進んでいます。しかし、本来ものづくりには分野 を超えたコラボレーションが必要であり、自身の専門分野だけでなく広い視野を持つことが

そこで校舎は学科間のコミュニケーションを活性化するために、あえて分棟とせず各学科 を一棟にまとめました。大小様々な実習室が集積回路のように複雑に配置された校舎には ところどころに吹抜けや光庭を設け、違う学科同士が「見る・見られる」の関係にあることで、 互いに切磋琢磨し交流や協働が生まれる空間となることを目論みました。

この学校が、学科の枠を超えた豊かな人間関係を築き、日本を支えるものづくりの現場で 活躍する人材が巣立っていくステージとなることを期待しています。



戸田建設株式会社 名古屋支店 建築工事部 担当部長(当時作業所長)

服部博行 Hirovuki Hattori

美しく・爽やかに・気持ちを込めてつくり込む

関係者の皆様の『想い』を、施工者としていかに現場の最前線で働く職人さんまで伝える ことが出来るか。着工当初より掲げたのが表題の作業所のキャッチフレーズです。つくるモノ だけでなく周辺環境を含め作業中の現場も「美しく」、そして関係者と気持ちの良い「爽やか な」コミュニケーションを心掛け、この現場に携わる一人ひとりがそれぞれの目標を持ち、「気 持ちを込めて|日々の作業に取り組むことです。

竣工後に職人さんと私で学校を訪れた時に、多くの生徒さんから気持ちの良い挨拶を受 け、職人さんから「こんな気持ちの良い挨拶をされ、頑張って良かった」と言われた時は、こ のプロジェクトに携わった喜びをしみじみ感じました。

この学び舎より、生産現場の最前線で活躍するマイスターが多く輩出されることを関係者 一同祈念いたします。









空調などの設備が十分ではなく、そのために将

公共建築であるので、初期の投資のもとでは

開催など、高校の生徒募集や未来を見据えた対

策に建築主と現場の一体感が感じられた。

来の装置を設けている。この学校は、構想段階か

高校としての利用のみならず完成後の使われ

から施工までぶれることなく作られて

3.平屋のような普通教室

1.生徒の居場所をつくる屋上テラス 2.共用部で声を掛け合う生徒 4.光・風を取り込む機械加工実習室

[選考委員]

赤松佳珠子

青木

茂

している。

に建築主である県、設計

かない使い方が生まれ

ることをこの建築に期待

施工者が予想だにつ

在り方まで感じさせられる建築である。将来的 背骨の通った建築となっており、未来への教育の

愛知県立愛知総合工科高等学校 計画概要

- ●建築主 愛知県
- 名工建設(株)
- 千種区星が丘山手107

- ●階数 地上5階
- ●構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

- ●設計者 ㈱久米設計 ●施工者 戸田建設㈱
- ●所在地 愛知県名古屋市
- ●竣工日 2016年3月25日
- ●敷地面積 52,088 m²
- ●建築面積 11,215m² ●延床面積 29,464㎡

は生徒にとってはローコスト のではと大変好感が持てた。このローコスト建築 になるのではと思われる。 、将来の配管の更新なども面白い教材になる 施工に関しても工事期間中の現場見学会の ゆえ、想像力の原点

37 | ACe 2020.02